株式会社アドバネクス

2013年3月期第2四半期
決算補足説明資料

2012年11月9日

本資料は2012年9月30日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、予告なしに変更されることがあります。

ADVANEX

主な内容

1. 2013年3月期第2四半期連結業績概要
2. 2013年3月期通期見通し

ADVANEX

1-1. 第2四半期連結業績概要

（単位：百万円、%）

	2012年3月期 2Q	2013年3月期 2Q	対前期比増減		予想 （7月31日公表）	対予想 増減（率）
			額	率		
売上高	13,096	12,054	△1,042	△8.0%	12,300	△2.0%
営業利益	409	242	△ 167	△40.8%	260	△6.9%
営業利益率	3.1%	2.0%	(△1.1%)	–	2.1%	–
経常利益	190	95	△95	△49.9%	100	△5.0%
経常利益率	1.5%	0.8%	(△0.7%)	–	0.8%	–
四半期純利益	17	127	110	614.5%	160	△20.6%
四半期純利益率	0.1%	1.1%	(1.0%)	–	1.3%	–

ADVANEX

1-2. 第2四半期連結業績のポイント

◆連結売上高は減少、営業・経常利益も減少

精密ばね事業、プラスチック事業とも自動車向けの売上は伸びたものの、OA機器やPC関連向けの売上が前年同期より減少。減益の主な要因として、精密ばね事業は売上高減少等に伴う国内の収益悪化、プラスチック事業は国内及び中国での人件費増加。 ヒンジ事業は事業縮小に伴い売上高は減少したものの、営業損失額は前年同期に比べ縮小。

◆特別利益の計上により最終利益は増加

昨年10月に洪水被害を受けたタイ工場の保険金収入167百万円を1Qに特別利益として計上。四半期純利益は、前年同期よりも110百万円増加。

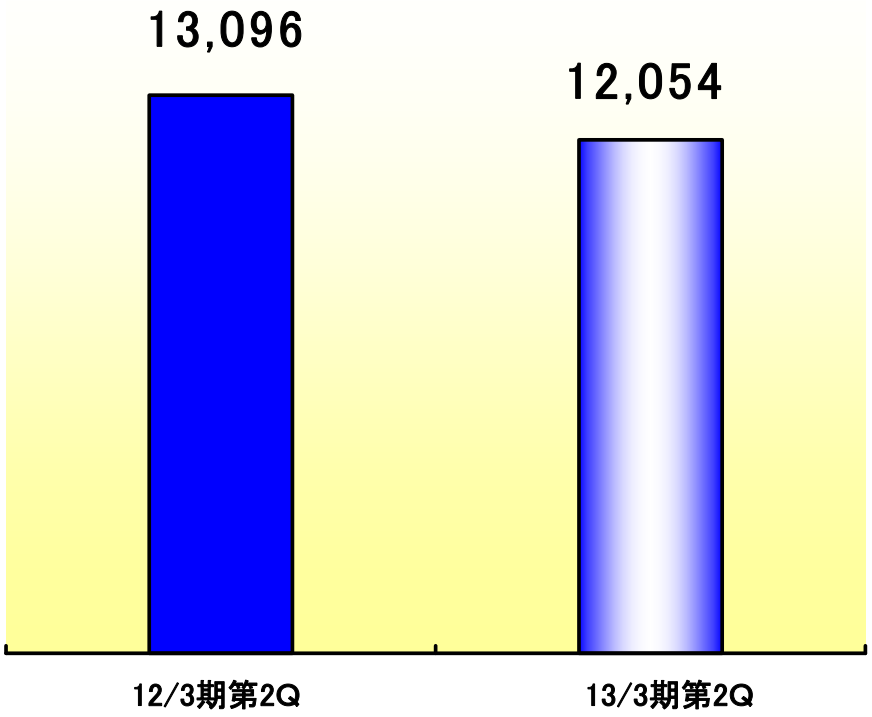
◆自動車向けの売上がOA機器向けを逆転

精密ばね事業とプラスチック事業において、自動車向けの売上高が国内外で伸長。OA機器向けを抜き、市場別売上高の首位に上昇。(34%)

1-3. 第2四半期業績推移(連結)

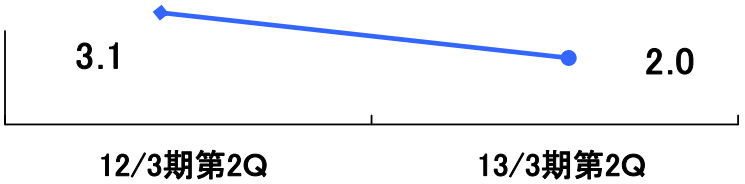
売上高

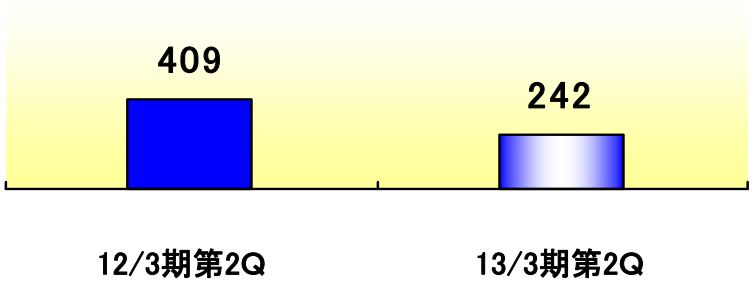
(百万円)



営業利益・利益率

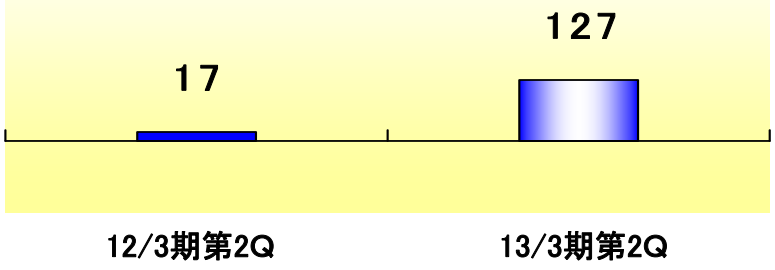
(百万円)





四半期純利益

(百万円)

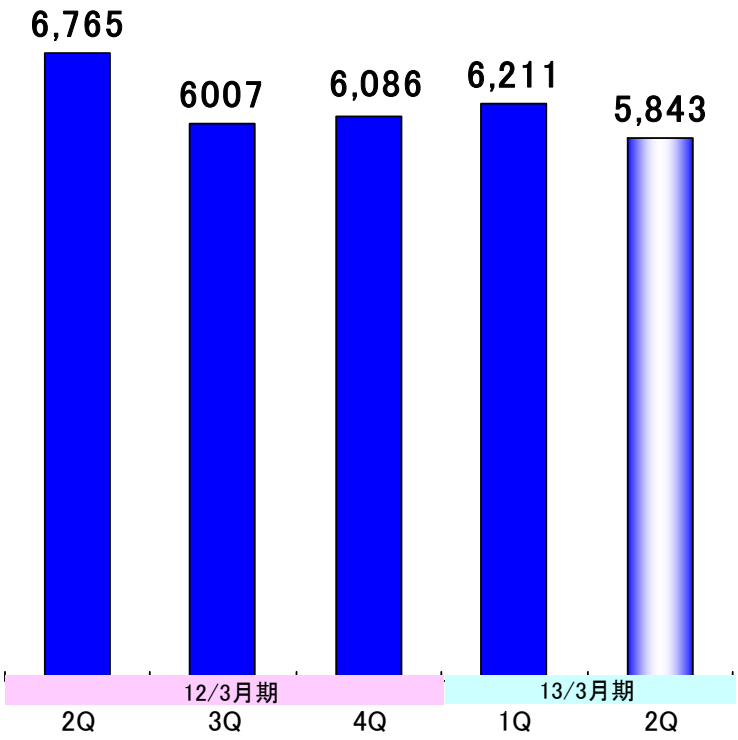


ADVANEX

1-4. 四半期別業績推移(連結)

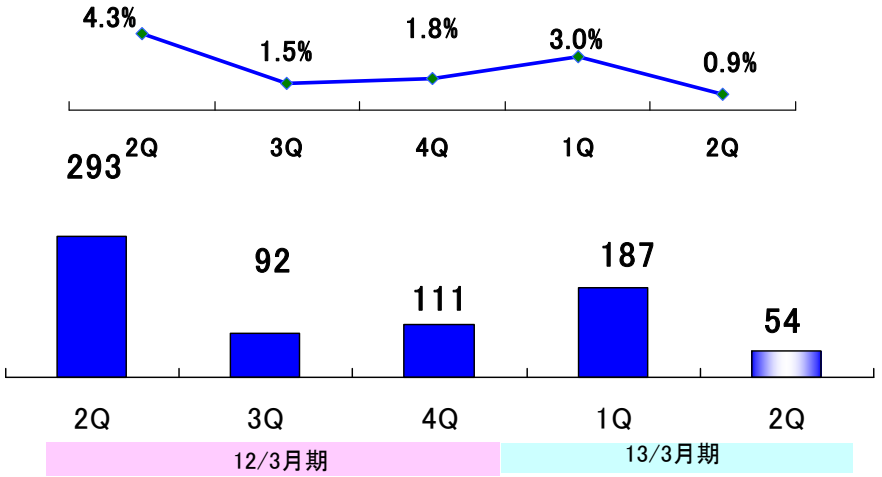
売上高

(百万円)



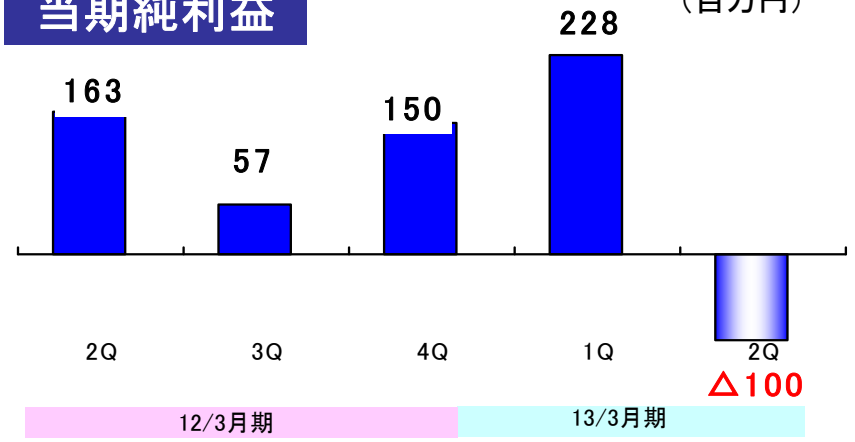
営業利益・利益率

(百万円)



当期純利益

(百万円)

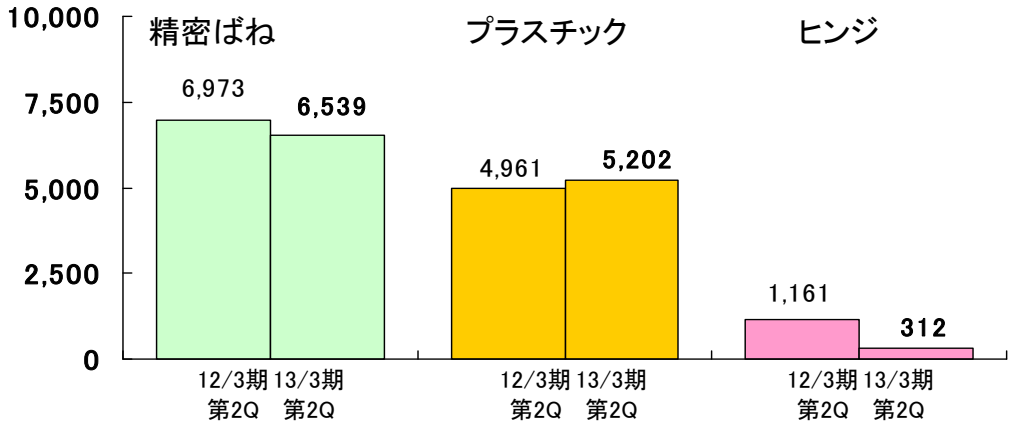


ADVANEX

1-5. 事業別売上高・セグメント利益

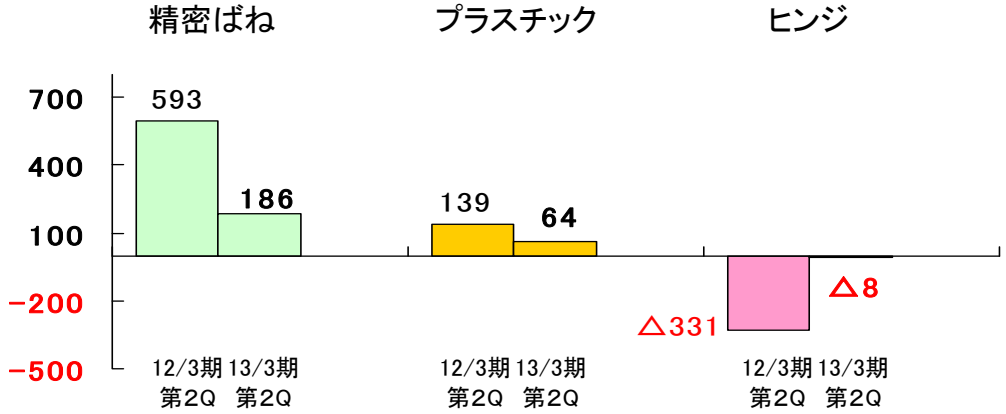
売上高

（単位：百万円）



セグメント利益

（単位：百万円）



＜前第2四半期からの変動要因＞

精密ばね

・国内は自動車向けの売上が増加したものの、収益性の高いOA機器・PC関連向けの売上が減少。
・海外は、アジアの売り上げが伸び悩み。英国は減収・減益。
・国内と英国の利益落ち込みにより、収益が減少。
＜売上：△ 6.2% 、セグメント利益：407百万円減少＞

プラスチック

・国内はOA機器向けの売上が減少したものの、自動車向けの売上が伸長。
・海外も中国やベトナムで自動車向けの売上が増加。
・国内および中国で、賞与や賃上げ等に伴い人件費が増加したため、収益は減少。
＜売上：+4.9%、セグメント利益：74百万円減少＞

ヒンジ

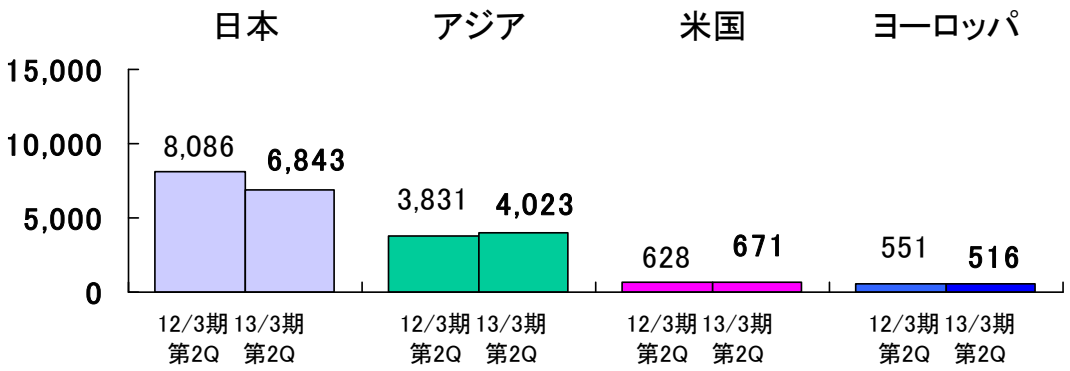
・携帯電話向け事業の縮小とPC向け事業の売却に伴い、売上が減少。
・製品価格の値上げや人件費等の固定費削減により、損失額が大幅に減少。
＜売上：△73.1%、セグメント損失：322百万円減少＞

ADVANEX

1-6. 所在地別売上高・セグメント業利益

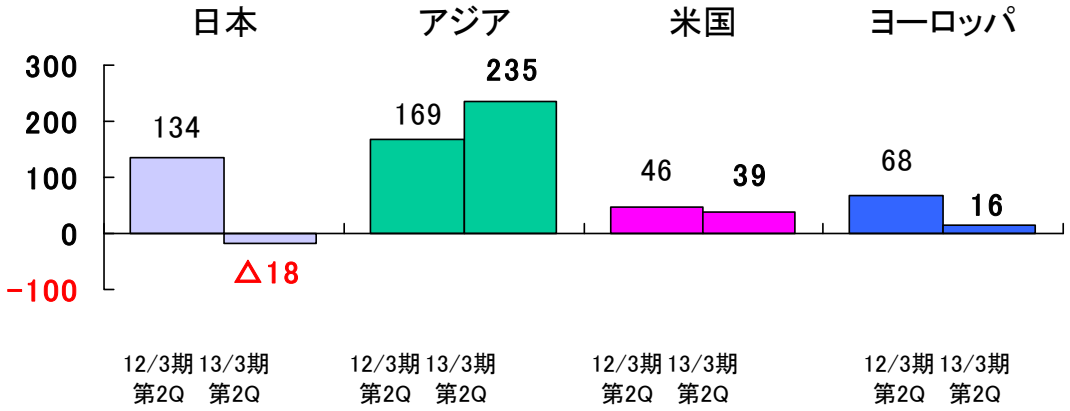
売上高

（単位：百万円）



セグメント利益

（単位：百万円）



＜前第2Qからの変動要因＞

日本

・売上高は、ヒンジ事業の売上減少と精密ばね事業におけるOA機器とPC関連向け等の販売減少により減少。

•ヒンジ事業の損失が減少したものの、国内の精密ばね事業は収益悪化。プラスチック事業も利益が減少。

＜売上：△15.4%、営業損益：153百万円悪化＞

海外

・欧州は医療機器向けの売上減少により、減益。

・アジアは精密ばね事業が売上・利益とも伸び悩んだが、プラスチック事業において自動車向け等の売上が伸び、利益が増加。

＜売上：+4.0%、営業利益：7百万円増加＞

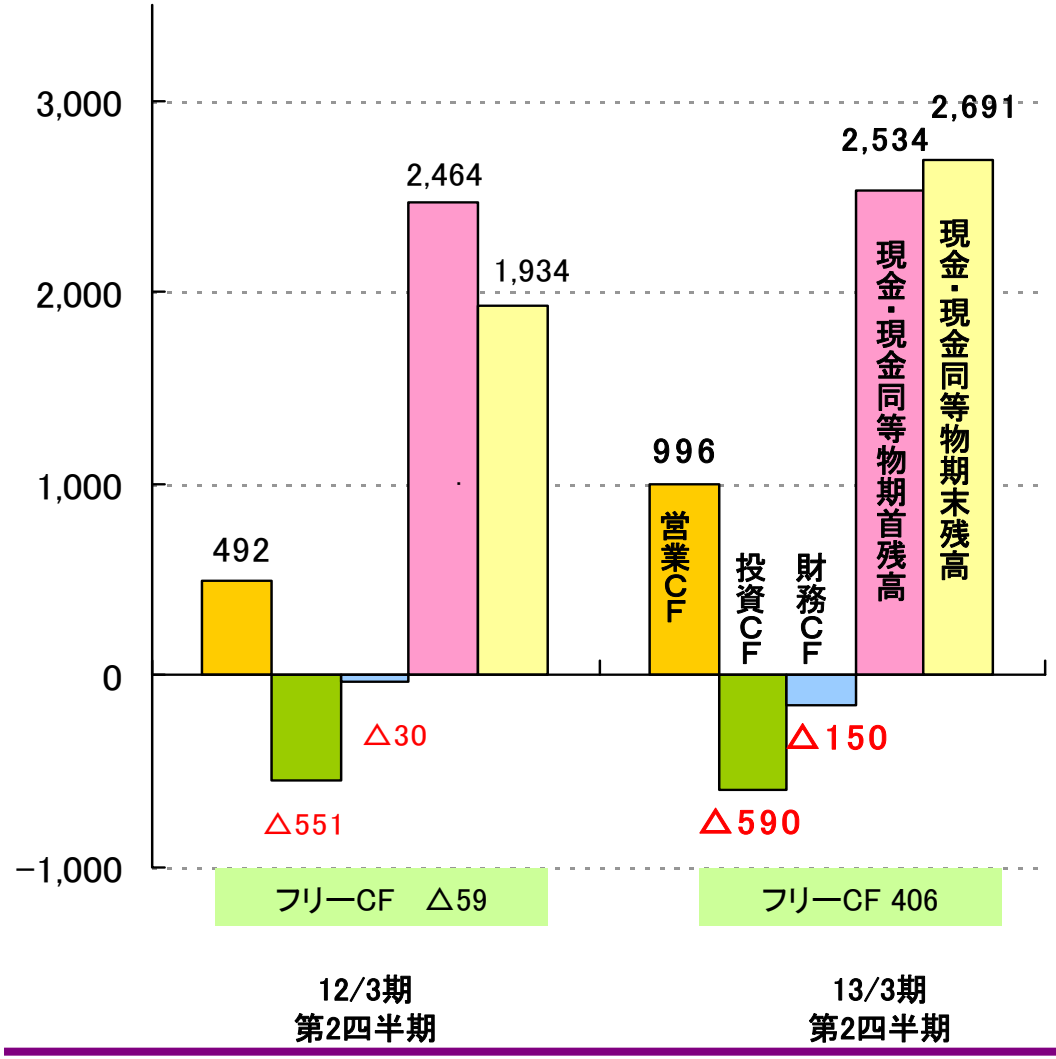
ADVANEX

1-7. 連結市場別売上高

（百万円）	12年3月期		13年3月期		増減	
	上期	構成比	上期	構成比	額	増減率
OA機器	3,857	29.5%	3,477	28.8%	△380	△9.9%
自動車機器	3,005	22.9%	4,121	34.2%	1,115	37.1%
PC・周辺機器	1,108	8.5%	440	3.6%	△668	△60.3%
携帯情報端末	813	6.2%	377	3.1%	△436	△53.6%
AV・家電	764	5.8%	666	5.5%	△98	△12.8%
精密機器	887	6.8%	612	5.1%	△275	△31.0%
医療機器	409	3.1%	352	2.9%	△57	△13.9%
住設機器	901	6.9%	778	6.5%	△123	△13.7%
その他	1,352	10.3%	1,231	10.2%	△121	△8.9%
合計	13,096	100.0%	12,054	100.0%	△1,042	△ 8.0 %

ADVANEX

1-8　連結キャッシュ・フロー



＜12/3期第2四半期の状況＞

営業活動によるCF

純利益の増加、減価償却費による資金留保等により、資金が996百万円増加

投資活動によるCF

国内やタイ工場等における機械設備等の投資、マレーシア子会社の株式追加取得により、資金が590百万円減少

財務活動によるCF

銀行借入金の返済により、資金が150百万円減少

ADVANEX

2-1　2012年3月期通期業績予想（連結）

（百万円）	2012年3月期	2013年3月期 通期予想	対前年比 増減（率）	前回予想 （7月31日公表）	対前回計画 増減（率）
売上高	25,191	23,400	△7.1%	25,000	△ 6.4%
営業利益	612	400	△34.7%	650	△ 38.5%
営業利益率	2.4%	1.7%	–	2.6%	–
経常利益	470	180	△61.7%	350	△ 48.6%
当期純利益	226	140	△38.2%	300	△ 53.3%

2-2　通期業績予想の修正について

◆売上高・利益ともに通期は減額

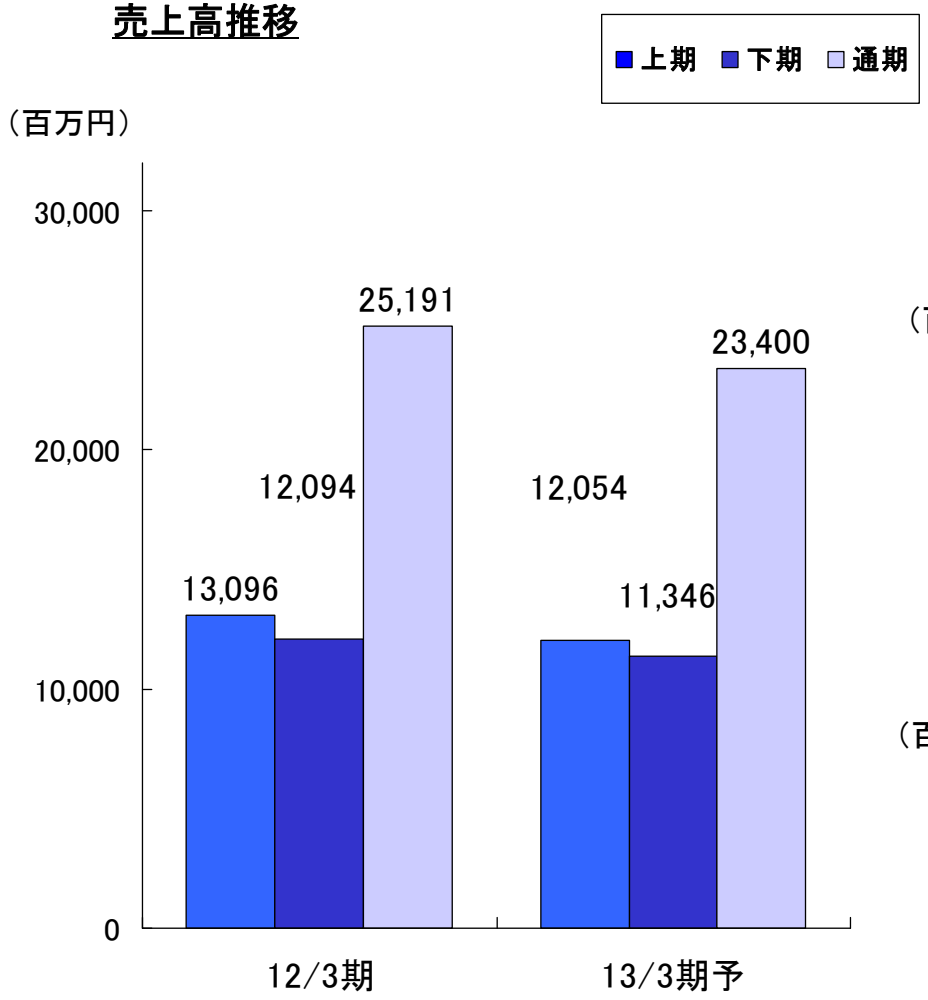
下期は、海外景気の停滞や新興国の景気減速に加え、日中関係の悪化による日系自動車メーカーの生産・販売減少が見込まれる。このため、精密ばね事業とプラスチック事業において、国内およびアジアでOA機器向けや自動車向けの販売が上期より減少する見込み。特に3Qの売上減少が大きい。プラスチック事業を中心に下期ではコスト削減を図るものの、利益は上期より減少。通期の業績は、前回予想をかなり下回る見込み。

◆配当予想は修正なし

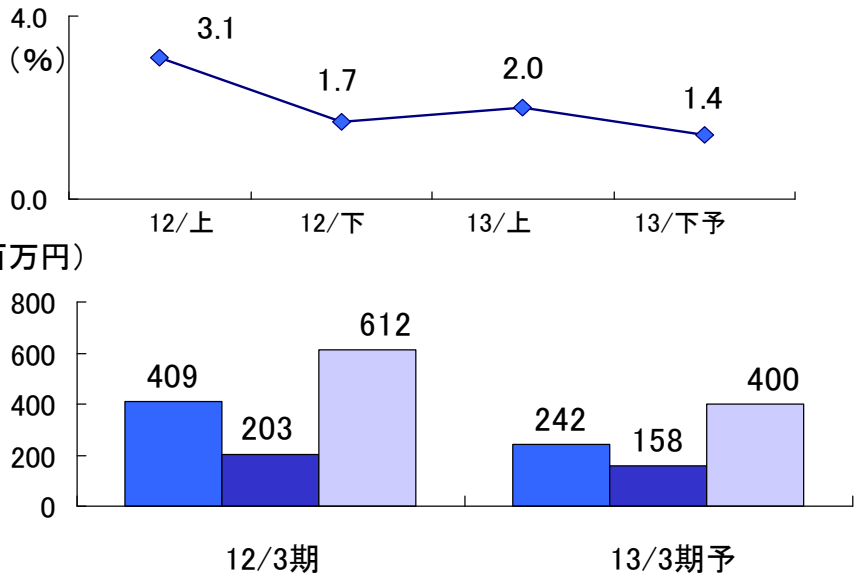
期末に1株あたり1円の配当を予定。

2-3 業績推移(連結)

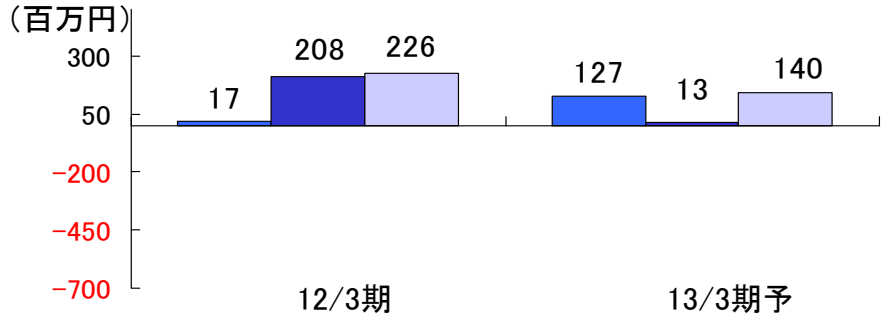
売上高推移



営業利益・営業利益率(%)推移



当期純利益推移



ADVANEX

（お問い合わせ先）

株式会社アドバネクス
広報IR部

TEL：03 － 3822 － 5865　　FAX：03 － 3822 － 5873
URL：http：//www.advanex.co.jp